

THINGS BORN OUT OF

じゆう劇場

鳥の劇場

BIED Theatre Company TOTTORI

プロデュース

「ロミオとジュリエット」 から生まれたもの-2018

ツアー公演

2017年
フランス・ナント市で
大喝采をあびた作品を
国内3か所で上演!

9/29²⁰¹⁸ 米子⁺
1/25²⁰¹⁹ 高知^金
2/1・2²⁰¹⁹ 東京⁺

“ROMEO AND JULIET”



じゆう劇場とは？

じゆう劇場は、鳥の劇場のプロデュースのもと、2013年8月に活動を開始したプロジェクト。障がいのある人、ない人がいっしょに舞台を作り、日常生活では隠れがちなそれぞれの豊かさを発見し、その素晴らしさを観客と分かち合うことを目指す。今年で5年目の活動。

毎年参加者を公募し、継続的な参加者と新規の加入者が混じりながら創作をする。今年は、知的、身体、視覚の障がいをもつみなさんと障がいのない方2名が参加し、総勢14名の出演。演劇は協働的な芸術であり、参加者相互の信頼と深い関わり合いが必要とされる。じゆう劇場は、我々が築かなければならない共生社会を先取りした風景を観客に提示することを目指す。

構成・演出：中島諒人、齊藤頼陽

出演：井谷優太、北村未菜、島田ひかる、武内美津子、仲野真由美、西垣伸子、西野八重子、福角幸子、福角宣弘、藤木恵子、三好真比郎、矢吹誠浩、和田尚也、宮内ゆか、齊藤頼陽、高橋等、國石百加、藤岡千夏

上演時間 約1時間30分

じゆう劇場の豊かな生産性

生産性の有る無しで人間を分類する発言がある国会議員からあって、大きな批判を呼んだ。ここで生産性とは次世代を生むという意味で語られたようだ。人を作り、その労働により富を生み、また一部は兵隊となる。殖産興業、富国強兵という明治的価値観だ。それだけで人間を価値づけするなという批判には全く同意する。その通りだ。

彼女の論からすると、障がいのある人たちも生産性がないということになるだろう。生産性は、現在の効率一辺倒の競争社会の中心にあるものさしだ。生産性こそ社会の発展の原動力で、その能力の高いものが社会の

真ん中で自由に振る舞い、その能力の低いものは、社会的に冷遇されて当然だということになる。この考えが、人類が長い時間をかけて鍛え築いて来た普遍的価値観に反することは言うまでもない。

ここまではそもそも論。しかし本当に障がいのある人は生産性が低いのか。じゆう劇場をやっている私は、彼らの豊かな生産性を知っている。彼らは、力を合わせて面白い芝居を作ることができる。日本だけでなくフランスでも皆の心を動かした。憎悪によって世界が分断されつつあるこの時代の中で、壁を無くしていこうという力強いメッセージによって、感動を巻き起こしたのである。これを生産と呼ぶはずして何と呼ぶのか。生産の意味が違う？いや絶対に違わない！

(鳥の劇場芸術監督・演出家 中島諒人)

2017年ナント公演の

観劇者感想

世界的なラブストーリーを軸に、障がい者の恋愛のリアルを語る演出の革新性に衝撃を受けた。(女性)

一回公演なんでもったいない！フランスでツアー公演してもいいくらいだ。(男性)

最初は障がい者の演劇だと思って見ていた、最後には障がいの存在を忘れ、血の通った人間の魂だけが舞台に残った。(40代女性)

愛を語ることの美しさを思い出した。(30代男性)

芸術と共生、双方の可能性に目が開かされた。(40代女性)

作品そのものが質が高くて驚いたが、劇団の存在そのものが画期的。(40代女性)

米子公演

9/29^土 2018

📍 米子市公会堂 (鳥取県米子市角盤町2-61)

アクセス案内

🕒 14:00 開演 13:30 開場

🎫 1,000円

※ 予約受付は9/1^土より



高知公演

1/25^金 2019

📍 高知県立美術館ホール (高知県高知市高須353-2)

アクセス案内

🕒 19:00 開演 18:30 開場

🎫 1,000円

※ 予約受付は12/5^土より



「いろいろを楽しむ演劇プロジェクト2018招聘公演～四国初上演!～」

主催：鳥の劇場運営委員会、葦工ミュージアム 共催：シアターTACOGURA、高知県立美術館 助成：(一財)高知県職員互助会、公益信託高知市まちづくりファンド

東京公演 2days

2/1^金.2^土 2019

📍 東京芸術劇場シアターウエスト (東京都豊島区西池袋1-8-1)

アクセス案内

🕒 19:00 開演 18:30 開場 (予定)

🎫 無料(要事前申込)

※ 予約受付は12/5^土より



鳥取県での暮らし方を紹介するイベント、子どもが遊べる広場イベントも同時開催しております。

「とうきょうの真ん中で“地方暮らし・子育て”を考える～とつどりの場合」2/1^土～3^日

主催：鳥取県、特定非営利活動法人 鳥の劇場

【お問い合わせ・お申込み】

ご観劇希望の方は電話、FAX、E-mail、WEBのいずれかで事前にお申し込みください。定員になり次第締め切りとなります。

◎ご予約の際は、お名前、お電話番号、会場、人数を明記のうえ、お申し込みください。

FAXお申し込みフォーム (鳥の劇場 0857-84-3268)

お名前：

お電話番号：

会場： 米子 ・ 高知 ・ 東京(1日・2日)

人数： ◆一般 ()名 ◆高校生以下 ()名